

商業科学習指導案

石川県立小松商業高等学校 教諭

| | | | |
|---------|----------------------|-----|-------|
| 指導日時・教室 | 平成20年9月8日(月)1限目 | 教室名 | 商事実習室 |
| 対象生徒・集団 | 商業科 3年生 10名(男4人・女6人) | | |
| 科目名 | 簿記総合演習 | | |
| 補助教材 | 全商会計実務検定試験(財務諸表分析) | | |

1 研究テーマ

- (1) 研究テーマ 『高度な専門知識を身につけ、簿記のスペシャリストを目指そう』
- (2) 研究テーマ設定理由

現在、世界経済の動向はめまぐるしく変化しており、今後の方向性が見えにくい状況下にある。このような状況の中、正しい意思決定をするためには、経済状況を会計的に正しく分析することのできる能力の育成が必要となる。企業の財務諸表を正確に分析し、これからの動向をその会計数値から読み取る技術力・思考力の向上を図る。また、財務諸表分析をとおして、より専門的な視点で企業評価を実施し、それぞれの企業の観点別評価を討議しあうことにより、正確に物事を捉え、的確な判断をすることのできる力が育成される。簿記の学習で培った力を実践的力に結びつけ、簿記のスペシャリストとしての資質の向上を目指す。

2 単元名 「財務諸表分析の実際」

3 単元目標

- ①財務諸表より各種指標を計算し、比率分析・比較分析を行うことにより会計数値の持つ意味を理解している。 【知識・理解】
- ②会計数値から企業評価を行い、企業がどのような状況にあるのかを数理的に判断することができる。 【思考・判断】
- ③財務諸表分析・企業の現況を踏まえ、今後のビジネス社会の動向を論理的に分析することができる。 【関心・意欲・態度】

4 指導に当たって

(1) 生徒の状況

1年次より、簿記では習熟度別学習を行っている。本クラスの生徒は、進度の速いクラスあたり、家庭学習に確実に取り組み、能力的にも高いレベルの生徒である。資格取得にも積極的に励み、高校生では難関といわれる日商簿記検定2級を取得するなど好成績を収めてきている。企業の財務諸表を分析するなどの実学的な学習を行うにあたり、簿記会計に関する知識の土台はしっかりとしている。

(2) 指導方針・方法

本校の簿記・会計に関する指導方針は、1、2年次に科目「簿記」、「会計」、「原価計算」の学習により、基礎的・応用的な知識を習得させ、3年次に実学的な力を付けることにより集大成する。

3年次に実施される本科目では、今まで学習してきた知識を活用し企業の財務諸表から算出される会計数値の持つ意味と、その会計数値より判断される企業の今後の動向について論理的にまとめる力を育成する。企業の今後の動向をつかむためには、企業の現況を知るばかりでなく、現在のビジネス社会・経済市場についても分析することが必要である事を気づかせる。企業評価を最終的にまとめさせ、他の生徒の前で発表するプレゼンテーションを実施する。

(3) 教材選定の理由

財務諸表分析を的確に行う力を育成するために、実社会のデータを活用すると共に、財務諸表の要点をまとめるために、新しくできた全商簿記実務検定の問題を使用する。

5 単元の指導計画（総時数20時間）

- 第一次 企業間比較の実践 (10時間)
 - ・収益性の分析 (3時間)
 - ・安全性の分析 (3時間)
 - ・企業価値の分析 (4時間) ……………本時
- 第二次 期間比較の実践 (10時間)
 - ・収益性の分析 (3時間)
 - ・安全性の分析 (3時間)
 - ・企業価値の分析 (4時間)

6 本時の指導と評価の計画

(1) 本時のねらい

- ・算出した各種指標の会計数値の持つ意味を理解することができる。 【知識・理解】
- ・会計数値より企業評価を行い、企業の現況を数理的に判断することができる。 【思考・判断】

(2) 準備・資料等

- ・ワークシート、新聞掲載財務諸表

(3) 本時の展開

| 時間 | 学習内容 | 生徒の学習活動 | 教師の指導・留意点 | 評価基準【観点】 (評価方法) |
|-----------|-------------------------------------|--|---|---|
| 導入 5分 | 前時の復習 時事問題 | ・前時の確認を行う | ・前時の確認 (安全性の分析) ・経済状況の解説 | |
| 展開 40分 | 収益性・安全性に関する実データ分析 企業価値の分析と検討 | ・収益性・安全性に関する実データを処理する。 ・企業価値を分析する。 ・企業間の比較分析を行い、どちらが良好であるか判断する。 ・比較検討を行い、各企業の状況を協議する。 | ・ワークシートを使い、各種指標のポイントを理解させる。 ・企業価値評価をするためにワークシートに必要な事項を記入する。 ・ワークシートに各企業の動向を記入させる。 ・比較することによりどちらが良好であるか協議し、分析の最終判断に繋げる。 | ・各種指標の会計数値の持つ意味を理解している。【知識・理解】 (ワークシート) ・企業評価を行い、企業の現況・今後の動向について数理的に判断できる。 【思考・判断】 (ワークシート) |
| まとめ 5分 | | ・協議結果を各自でまとめる。 | ・比較協議の内容・最終判断決定事項をまとめ次回のプレゼンのための資料をまとめさせる。 | |